

平成 28 年度沖縄県青年リーダー研修会

平成 28 年 10 月 15 日（土）・16 日（日）

※原文のまま（誤字等を除く。）掲載しております。

●15. 選挙における啓発事業として、何かアイデアがあれば、教えてください。

- ▼小中高校生に対する選挙啓発ではなく、政治参加の教育を強化。
- ▼政治家の話聞ける場をもっと増やす。
- ▼若い人でも関心しやすい、わかりやすい講演会なども行ったり、パンフレットを配布したりなど。
- ▼何か身を知るような事があれば興味を持つ？
- ▼選挙が楽しくなるような、CM 作成か、学校教育をもっと発達させたい。
- ▼選挙権に関する歴史と意義を教育機関で説明してほしい。
- ▼HP や SNS の利用、高校生でも分かるマニフェスト、政策作りなど。
- ▼もっと若者が政治について関心を持ち、気軽に話し合えるセミナー
- ▼小・中・高校生の授業の一環として議会見学を行うこと。
- ▼VotersBar のように、候補者や党の人と若者が気軽に話しできる場。
- ▼今回のような研修を広げていく。

●17. 「講演」をとおして感じたことや質問・要望などを自由に御記入ください。

- ▼自分が「市民」であることを再確認した。
- ▼VotersBar に行ってみたいと思った。
- ▼政治に少し関心が持てた。
- ▼高校に政党の方々を招いて実際に政治を身近で感じてもらったほうがいい。
- ▼YouthCreate の活動に興味を持ったのもっと詳しく知りたい。
- ▼自分の高校でもやってほしい。
- ▼自分たちの意見が反映されていくことが楽しみ。
- ▼NPO 法人として、若者が次世代の子どもたちを教育する活動を行っていることが分かり勉強になりました。
- ▼自分の持つ知識が少ないと思った。
- ▼YouthCreate さんのような団体が沖縄にも存在するなら講演を聞いてみたい。
- ▼自分も未貴さんのような活動をしたいと思った。
- ▼VotersBar やりたい。
- ▼政治へのアプローチが多用であることを再認識できました。
- ▼質問時間がちょっと短かった。
- ▼主権者教育の取り組み事例を知ることができて良かった。

▼今後の生活をよりよくしていくために、どれだけ選挙が大事なのかって事にきづかされました。

●19. 「政見発表会」をとおして感じたことや講師への質問などを自由に御記入ください。

- ▼実際に政治家と話せて、とても貴重な機会であった。
- ▼もっと質問の時間がほしかったです。
- ▼党の考えを少しわかることができた。
- ▼意見をはっきり言わずに難しい言葉が続いてよくわからなかった
- ▼8つの政党の皆さんが2つの問題に対してどのような考えを持っているのかを普段聞くことができない分、たくさんきくことができたのですがもっと掘り下げて聞けたらいいなと思いました。
- ▼初めてやって、色々聞けて、楽しかった。
- ▼各党の意見。
- ▼やはり政党ごとの特色が出ててよかったと思う。
- ▼発表の内容としてはレベルの高いものだったが、関心は持てたと思う。
- ▼同じテーマで、得たい結果も同じなのに、立場が変わるとアプローチが異なることが分かり勉強になりました。
- ▼内容を前もって知ってたら、自分たちもそれを勉強してきて、議員さんたちと、もっと議論することができたと思う。
- ▼政党同士の考え方が似ているところや全く違うところがあって興味深いと感じた。
- ▼政党のみなさんの議題が事前にわかると良い。
- ▼自分の持ってる知識が少ないと思った。
- ▼政党によってこれほどまでに考えが違うのかと改めて実感した。
- ▼意見を短くまとめて話すのがうまい。
- ▼テーマに対する党の主張をあらかじめ簡潔にまとめた紙を配布したらわかりやすい。
- ▼政党数が多く、意見のぶつかりが見れておもしろかった。
- ▼質問時間、答える時間が短く、短時間で、中身についてはあまり見えてこなかった。しかも、手を挙げさせる前から手を挙げて質問されたら他の人は誰も質問できない。
- ▼各政党の意見を比較できたので良かったです。
- ▼対立する共産党と自民党が隣同士で、笑顔で議論していたのがとても印象的だった。
- ▼事前の説明が無かったため、政党の方の話に分らない点があった。
- ▼政党同士の意見交換みたいなものが実際に見れて、すごく印象に残ったし、改めて今後政党の考え方にも着目していこうと思いました。

●21. 「まちづくりゲーム」をとおして感じたことや講師への質問などを自由に御記入ください。

- ▼地域のニーズに合う新しい独特な提案が必要なのではないか。

- ▼もっと複雑なものもやってみたいです。
- ▼まちづくりの大変さを実感した。
- ▼想像を膨らます時間ってというのがあまりなかったが、貴重な時間をいただきいい交流になりました。
- ▼まちづくりをチームで協力するまでは理解できていましたが、最後の選挙結果の見方は難しかったです。
- ▼何もない場所から新しいことを考えたりする難しさを学びました。
- ▼楽しかったし、チームワークも上がった。
- ▼プレゼンは経験すべき。緊張するけど、いい。
- ▼いろいろな人の意見を聞いて楽しかった。
- ▼一人一人の意見が大切でもあり、考え方もそれで一つに留まっていなくて変化し続け、発展させていくことのすばらしさがわかった。
- ▼行政として動くことの難しさを身をもって知ることができた。
- ▼ソフト事業の内容があいまいで、少しとまどった。
- ▼論点がずれてしまった。まとめることが難しかった。
- ▼考えるのが大変だった。
- ▼去年と島の形が一緒だったので変えてもらいたい。
- ▼まちづくりがしたくなった。
- ▼予算の制約のなかで住民の利害調整をしながら事業が実施されていくことを実感できました。
- ▼初めてまちづくりゲームに参加して、みんなが住みやすい！と思う町をつくることの難しさを感じた。
- ▼投票結果の勝敗ではなく、各グループで足りていない観点や他のグループとの比較などを行わないと、主権者としての意識・行動につながらないのでは？

●本研修についての感想をお聞かせください。

▼政治に対して普段思うことがあっても、共有するチャンス、機会が無かったので、今回の研修でそれが共有、理解でき、とても貴重な時間であった。

また、直に政治家、または政党としての意見を聞け、疑問に思っていたことなども聞け、今ある政治の現状がさらに明確に見えたと思う。

私は政治は“どの党に入れる”とか“どこがよい”または“ここの考え方がよい”など、既にあるものから「選ぶ」選挙ではなく、まずは自分の考えを持ち、それに近いもの、もしくは実現してくれそうな人を「支持」するものではないかと思いました。

▼今回の研修に参加して、講演をきき、選挙権が18歳に引き下げられたことの意味や、自分がどうしていくべきなのか、18歳に引き下げられてからの取組みを理解することができました。政治家の方と直接お話ができる企画などもぜひ参加したいと思いました。

政見発表会では、今まで知らなかったことを知ることができたり、目の前で政治家の方がお話をしてくださったのでとても良い経験になりました。

まちづくりゲームでは、ゴミや下水の問題をみんなが不満のないように収めるにはどう

すればよいかなど、考えなければいけないことが山ほどあるということが分かり、市長や政治家の方はすごいと思いました。

また、選挙では、本番と同じようにやっていて、18歳になったときにどのように選挙をすればよいかイメージがつかしました。

紙も破れなかったり、曲がらなかったりしてすごい工夫されていると思いました。

明るい選挙推進にも参加したいです。

▼今回私は、自分の意思でこの研修会に応募しました。

その理由として、6月に行われた選挙が18歳に引き下げられたことにより、私もあと数年で権利を得、投票に行かなければなりません。それに対してもの凄く不安を感じました。今の私は、政治について何も知らないし、身近にすら感じていなかったもので、このままで大丈夫なのかと思っていました。しかし、今回この研修に参加したことにより、初めに行われたNPO法人YouthCreate浜田未貴さんの講演では、自分の周りには政治であふれていることに気がつかしました。その後にあった政見発表会では複数の政党の方がお見えになり、2トピックのみでしたが、意見を述べてくださったおかげで今議論されている話題は何なのか。またそれに対してどのように考えているのかを知ることができました。それに加え、体験ゲームとして「まちづくりシミュレーションゲーム」を行ったことで、コミュニケーション能力、また思考力、発言力が向上することができたと思いました。

今回、このような研修会に参加したことは自分自身にとって良い機会だったと凄く感じます。ですので、今後は積極的に参加し、学習していきたいと思います。2日間、どうもありがとうございました。

▼今回、約2日間でしたが、こんなにも貴重な時間をいただきまして、とてもよかったと思っています。初日、政治に関する事例、政党からの問題を通して、一番大事だと思ったのは、小・中学校から政治のこと(勉学)を義務づけるべきとか、知識を高めあい、接する、模擬選挙の体験を通したりとか、それを踏まえた上で、政治参画が成り立つんだと思いました。

また、政党としては、自由党や社会大衆党をはじめとし、公立保育園の現状、普天間の現状においては、聞きながら討論することができました。

昨日の一部と今日の半日において、まちづくりシミュレーションゲームを行うことが出来ました。さまざまな先輩方の意見から、この島をどう明るくするのか? どういうふうに築いていくのか、予算も出し合いながら、マニフェストを行うことができ、立会演説の際、とても緊張し、テンパってしまいましたが、今後につなげるためにもいい経験になりました! 2日間ありがとうございました。

▼たくさんの方の話を聞いて、難しい言葉だらけで理解するのが大変でしたが、大学生の方から教えてもらえたりして、自分なりに吸収することができたので、とてもいい機会になりました。

政党の方々の話では、“普天間基地”については、正直納得できないことも沢山あったので、自分自身で知識を高めて、別の機会に質問等ができるようにしたいです。

私は、今16歳ですが、政治に関しての授業がないことの深刻さを感じたし、中学生で習った「公民」も全然生かせていないことが分かったので、自分から周りの友達に情報を発信できるように関心を持っていきます!!

「まちづくりゲーム」では、何が始まるのか不安ばかりでしたが、先輩方がリードしてくれて、成り立っていたので愉しくたくさんの方に気づいていくことができました。

2年後には、有権者として、選挙に参加する立場になっているので、今回の研修会を大切に、自分の意見をしっかり持って貢献できればいいなと思いました。

2日間という長いようで短い研修でしたが、有意義な時間を過ごせたとし、自分のためになることがたくさんあったので、今回参加してよかったです。

ありがとうございました。

▼まず、YouthCreate の浜田さんの話を聞いて、政治って何だろうということを知り、今までより更に政治に関心を持つようになりました。私はまだ15歳ですが18歳になったら選挙に行きたいと思いました。「自分の意思を持って考える」この言葉を聞いて私には欠けているなあと感じたのもっと「私」というのを考えていこうと思いました。

政見発表会では、いつもは聞けない話、意見が聞けたのでとても良い機会だと思い、政党の想いも伝わりました。

ワークショップでは、グループの人と意見を言い合い、話し合っただけで素晴らしい町づくりが出来たのではないかと思います。

▼今回の研修会を通し、私は政治に興味があるけど、知らない事がたくさんありこの研修でもっと政治を知り、自分の身近なものとして受けとめていきたいと思いました。

2日間ありがとうございました。

▼最初は、ドキドキして、何もわからなかったけど、今では、わかるようになり、選挙の大切さがわかった。また、ワークショップは、他の人の意見も聞けたし、チームワークも深まり、一番楽しかったです。

政見のは、初めてやって、自分と同じ考えの人もいれば違う人もいて、いい勉強になった。

▼まちづくりは時間がとても足りなく感じたが、かえってそのほうがいいと思った。また、党の意見は、たくさんあり、中にはニュースでは聞かない話もあった。

▼各政党によって言っていることが変わったりして少し話しが難しかったけど、他の立場、他の見方ができてとても面白かった。特に奥間亮さんの話がとても印象深かったです。また、ワークショップでは、グループの人との話がすごく楽しかったです、焼却場の置き場所や下水処理場の場所、市役所、小中学校などの話し合いがとても聞いてて楽しかったり、いろいろと参考になりました。また、実際に立会演説会などを聞いてどのグループも自分たちの持っていないやり方をしていて何より語り上手でとても聞いてて自身の参考になりました。

▼私達高校生が普段感じている政治などが、そんなに遠いものでない事がわかったと思う。18歳からの選挙運動もあり、来年で18になる私も大人としての自覚を持っていくことが必要になってくると思った。

政見発表会では各党の熱い思いが短い時間の中でバシバシと伝わってきた。なによりも各政党のこれからの取り組みに興味をわいてきた。

ワークショップでは、自分のアイデアが町を変えることにもつながることがすごいと思った。

私自身学べることが多い研修だったと思う。もっと、周りに伝えていきたいと思いまし

た。自分の考えを持つことを大切にしていきます。

▼(講演について) 学生主体の活動が行われていること。その事業内容を知ることができ、視野が広がりました。

(政党発表会について) 1つのテーマでもさまざまなアプローチがあるということが分かり勉強になりました。ただ、「発表会」ではあるので、壇上での討論は止めていただきたいです。また、運営上の要望として、質疑応答の時間(質問者)をあと2人追加できるようお願いできないかと思えます。

(ワークショップについて) とにかくすばらしいゲームだと思います。各々が考える政策やニーズにどう行政の運用が応えるのか実際に体験できて、また一つ自分を成長させることができたと考えております。しかし、運営上時間に圧迫されるのは分りますが、口に出しては欲しくないなあっと感じました。

(全体的に) プログラムが充実しており、実質的な時間が少ない中、このような体験ができたことをうれしく思います。しかし質疑応答を充実させるためにも、質疑応答の時間を今の倍以上確保してほしいなっと考えます。

2日間ありがとうございました。

▼初めて参加しましたが、ワークショップ・政見発表会・まちづくりゲームなど、さまざまな研修内容があり、楽しかった。また、他大学の学生や高校生、社会人など、今まで関わりのなかった人たちと、チームをつくって、まちづくりについて考えるのは、お互いに良い刺激になった。今回は、ほとんどが学生だったので、社会に出て、仕事をしている社会人との交流が欲しかった。

▼選挙に行く意義を知ることができ、主体性を持って身近な地域について考えていくことが自分が住んでいる地域を良くすることだと感じました。

政党としての考え方がしっかりあって、沖縄の問題に対して真剣に取り組んでいることが伝わったので、自分も地域のことをもっと考えていこうと思うきっかけになりました。

ワークショップでは、政策・マニフェストを考える難しさを知りました。

▼去年参加したのですが、去年よりも場の雰囲気にもだんだん慣れてきました。個人の能力不足がたくさん見付き、たくさんの課題を与えられるいい機会になりました。同世代とこんなに政治について熱く語れることは無いので、良い刺激を得ることができました。みんなで沖縄県をより良くしたいと思う気持ちが強くなりました。日頃、気づくことができないことが、いっぱいわかりました。もっともっと勉強しなければならないです。

▼前も参加したのですが、あまりやり方が変わっていなかったもので、とてもやりやすかったです。

とても集中して話を聞いたり考えたりしたので、この2日間とても充実した日でした。

人のために考えてみる! というのは1年間に1回はあって良いものだと考えました。

各政党で奥間さんの発言は同意しかねる部分がありました。自分の学校の先生と討論したらどうなるんだろうと1人で考えていました。今回は2回目ということで、1回目はグループワークにあまり積極的ではありませんでしたが、今回はとても積極的に参加できたのでよかったです。もっと時間が欲しかったです。

▼高校生は、1日目の夕方に帰ってしまったので、ホテルに泊まって考えた大学生との間に生み空島のまちづくりに対する認識のズレがあった。その結果、発表の際に他のグルー

プから質問されてもうまく回答することができていなかった。

大学生の側が他のグループからの質問に対する答えをもう少し細かく考えておくべきだった。

▼政見発表会では、各政党のさまざまな主張があり、考えさせられることが多くありました。

特に、普天間飛行場の問題は、もっと深く聞きたくなる議論でした。「辺野古区民は条件付で容認している。」という、新聞では報道されない話も出ており、考えさせられることが多かったです。

▼私は去年のリーダー研修にも参加した経験がありますが、前回と比べて参加している高校生の数が増えていたのは良い変化でした。高校生も立候補者として政見発表を務めていて、政治の難しさや楽しさを共有して学べたと思います。

▼まず、未貴さんの講演を聞き、今まで自分が自分の身近な市の政治ではなく、国や外交ばかりに気が行っていることを気づかされ、もっと自分の町の政治に興味を持ってみようと思った。また、若者が政治参加しやすいようにするイベントや講演会などにすごく共感し、自分も一緒に活動したいと思った。

政見発表会では、初めて各政党の話比べながら聞き、この問題ではこの政党を支持したいしたいな、とか思うようになった。もっと政党について学んで、より良い生活ができるようにしたい。

ワークショップでは、今まで自分がこうしたい！と思っていたことが盛り込めたのが何よりも収穫!!他の都道府県や海外に観光や学びにいったときに、いつも現地の人と絡みたい、この人たちの生活を知りたい！交流したい！って思うけど、町中だったり、交流イベント的なものがないと、なかなか現地の人を見ることはできないけど!!そこを前面に押し出す島に出来たし、各集落がそれによって恩恵を受けれたり、いろんなことを考えることができたので楽しかった。

実際に自分でイベントを企画してやってみたいかと思ったし、いろんな人と繋がれたことも良い経験。ありがとうございました。

▼各政党の話が聞けたことは特におもしろかったです。保育所の話、普天間基地については、前提知識の有無で理解度に大きく影響するため、最低限の解説はやってほしかったです。→高校生が?になってました。

まちづくりワークショップでは、ルールを理解するのに時間がかかりました。みんなで構想を考えるのは良かった！まちをもっとリアルにイメージできるとさらに良いなと思う。

▼今回のようなワークショップに参加するのは初めてでしたが、グループの人と意見を言い合い、それを政策にしていくという過程はとても良い経験になりました。自分の意見に偏ることなく、第三者の視点から物事を考えることで生まれるのが政治というのを改めて実感できた一日でした。また、各政党の政見を聞くという機会はあまりないことだったので生の声で生の意見が聞けて、各政党の賛同できる点できない点が少しではありますが見えてきました。今回の経験で吸収したことをもっと広げるように、日々の生活の中で政治について考えていきたいと思います。

▼政治への関わり方や選挙について新しい視点を学び、自分自身の中で考え直す機会にな

りました。重要な一票を誰に入れるのか、よく考えた上で、これからも投票していこうと思いました。

▼今回の研修で一番印象に残っているのは、政見発表会です。さまざまな政党の方々の意見を生で初めて聞くことができ、今までのイメージ（政治家はおカタイイメージ）が払拭されました。本番中（講義中）や休み時間の間など気軽にあいさつを交わしたし、また、政治家同士が笑顔で議論していたのに驚きました。意見が対立している政治家はギクシャクしている！と思っていたイメージがなくなりました。

まちづくりゲームでは、普段かかわることのない方々とも意見を交わし合い、さまざまな意見を聞くことができとてもいい機会になりました。若年層が全国より比較的多い沖縄の若者の政治参加の必要性（重要性）についても改めて考えさせられる研修でした。

▼明推協さんの活動にも積極的に関わっていきたいと思っています。貴重な機会をありがとうございました。

▼研修に参加する前は「政治の汚職・民意が反映されていないと感じる」等を理由に、選挙に対してはあまり積極的ではありませんでした。しかし、今回の研修を通して私は選挙に対して前向きなイメージを持つことができました。

前向きなイメージとは、「政治家の現在の地域問題への取組が積極的である」ことと、「1人1人が有権者であることを自覚し、積極的に選挙に行けば、私たちが考える町にしていける」と言う事です。